

# まんとさく



Niimi University

2021 Summer | <https://www.niimi-u.ac.jp>

**【特集】**

**令和2年度新見公立大学卒業証書・学位記授与式  
令和3年度新見公立大学入学式**

**タイムカプセル開封式開催  
学内の美術作品紹介**

**各学科から**

健康科学部 健康保育学科

健康科学部 看護学科

健康科学部 地域福祉学科

助産学専攻科・大学院看護学研究科

**同窓会だより**

同窓生の近況

**研究紹介**

大学院 看護学研究科 研究科長 矢庭さゆり

私の研究紹介:地域高齢者の社会関係とソーシャルサポートに関する研究

**News & Events**

ふるさと納税のお願い、入試日程ほか



# 令和2年度 公立大学法人新見公立大学 卒業証書・学位記授与式

令和3年3月20日、地域共生推進センター棟講堂において、令和2年度公立大学法人新見公立大学卒業証書・学位記授与式が挙行され、健康科学部看護学科61名と助産学専攻科6名の門出を祝いました。



学歌清聴



卒業生代表答辞



卒業証書・学位記授与（看護学科）



卒業証書・学位記授与（助産学専攻科）

## 希望と夢を胸に 67名旅立ち

健康科学部看護学科と助産学専攻科の学生総勢67名が思い出の詰まった学び舎との別れを惜しみながら、新たな一歩を踏み出しました。

式では公文学長が「見違えるほど成長した皆さんを誇りに思う。培った専門性、人間力を生かし、しなやかに、たくましく生きてほしい。」と卒業生にエールを送りました。卒業生代表はこれを受け、「新見で得た知識や思い出を糧に、それぞれの場所で胸を張って精進していく。」と答辞を述べました。退場時には公文学長が卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記を手渡し、保護者や教職員の温かい拍手に包まれて退場しました。

卒業生は式後、友人や恩師らと一緒に記念撮影をし、マスク越しに思い出を語り合っていました。



記念写真（看護学科）



記念写真（助産学専攻科）

※新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し実施いたしました。



# 令和3年度 公立大学法人新見公立大学 入学式

令和3年4月10日、新見公立大学体育館において、令和3年度公立大学法人新見公立大学入学式が挙行され、健康科学部3学科196名、助産学専攻科6名、大学院看護学研究科3名の新入生を迎えました。



開式前の会場



入学者宣誓

## 夢への第一歩 205名入学

健康科学部3学科、助産学専攻科、大学院看護学研究科の新入生総勢205名がそれぞれの夢に向かって大学生活のスタートを切りました。今年は新入生と教職員に加え、保護者も参列しました。

式では公文学長が「自身と戦いながら専門性と人間力を高めてほしい。」と式辞を述べました。入学生代表は「大学の発展に貢献し、築き上げられた伝統を一層充実させていく。」と宣誓しました。

式後、1年次の成績が最も優れていた各学科の学生3名をたたえる新見ライオンズクラブ賞と、各学科の学年成績最優秀者を表彰し、公文学長が一人ひとりに各賞を授与しました。



入学許可証授与（健康保育学科）



入学許可証授与（看護学科）



入学許可証授与（地域福祉学科）



ライオンズクラブ賞及び学年成績最優秀者賞表彰

※新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し実施いたしました。



# タイムカプセル開封式開催

2020年12月18日、開学20周年時に作成されたタイムカプセルを開封しました。20年前、新見女子短期大学としては最後となる大学祭「19th Final 新女祭あいのしるし」（翌年から「鳴滝祭」）実行委員会が中心となり、20年後の開封を決めて作成されたものです。当時の在學生と教職員全員が、20年後の未来の自分へ向けてメッセージカードを書き、そのカードを新女祭のパンフレットや同窓会名簿などとともに壺に詰めて封入されました。以後20年間、3代にわたる学長に引き継がれ、学長室に保管されていました。開封式には、当時の在學生9人（うち1人はオンライン）と教員有志が参加され、20年後の自分へ宛てたメッセージを読み直したり思い出を語り合ったりなどして、旧交を温められました。

なお、当時書いた「20年後の自分へ宛てたメッセージ」がほしい方は、今年度末までに大学事務局学生課タイムカプセル係までお問い合わせください。その際、学科名と旧姓もお知らせください。



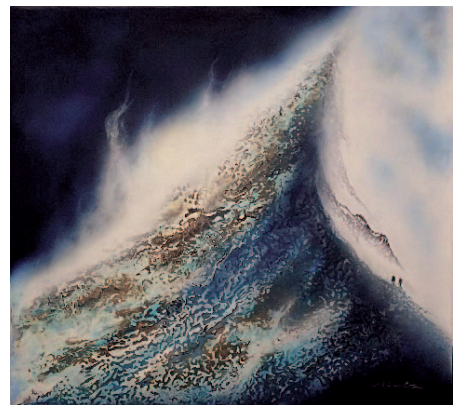
出席者全員での記念写真

## 学内の美術作品紹介

令和2年9月にキャンパス内に完成した地域共生推進センター棟の入口前通路には、学生の想像力や表現力の向上を目的として、ライムアートが展示されています。ライムアートとは、一級建築士・浪崎文彰氏（東京都在住）が独自に考案した「染色した石灰（ライム）と型押し装飾技法」で描く全く新しいジャンルの芸術です。2004年の発表とともに繊細で多彩な色彩表現を見せるアートとして美術界に新風をもたらし、新生美術会を中心に数々の栄えある賞を受賞されています。石灰を基盤産業とするライムタウン新見で進化を続ける新見公立大学の開学40年を記念して、「YASURAGI III」、「TOKIMEKI」、「IDOMU III」の3作品を展示しました。



TOKIMEKI



IDOMU III



YASURAGI III



# 健康科学部 健康保育学科

## 子どもの発達に関する幅広い専門性と 保育実践力を高めます

健康保育学科では、通常の実習に加え、ボランティアとして保育活動に関わる実地体験実習を行い、子どもの発達を乳児期から児童期まで総合的にとらえ、指導・支援できる実践的指導力を持った保育者の育成を目指します。



外遊びの様子



給食指導の様子

### ● 保育実習

健康保育学科2年生は、4年制大学になって初めての保育所での実習を体験しました。実習先と実習時期は短大時代とほぼ同じです。短大時代と違うところは、実習指導の時間数が倍になったことです。事後指導では、各学生が体験したエピソード記録に基づいてグループで話し合い・考察後に文章化し、全員で発表・討議を重ねました。学生の実践力と理論構築の向上に繋がればと思っています。最初は緊張していた学生たちも、この実習を通して少し成長したように感じています。

### ■ 保育実習を終えて

保育実習では、子どもと一緒に遊んだり保育者の補助を行ったりするだけでなく、自分で遊びを考え、指導もさせていただきました。

また、読み聞かせや手遊びの際のリアクション、劇遊びや音遊びで日に日に上手になっていく様子から、子どもの面白さや子どもと触れ合うことの楽しさを再認識することができました。そして、子ども一人ひとりに向き合い、一緒に成長していけるような保育者になりたいと今まで以上に強く思うようになりました。

(健康保育学科3年 田邊 愛理)



学内での事前指導 (教育支援センターにて)

### ● 実地体験実習

実地体験実習は、従来の保育実習や教育実習等の延長線上にさらに学びたい課題を見出し、学生一人ひとりが自分に合った実習計画を立てながら、保育・教育・福祉・特別支援、そして医療の現場でも経験を積んでいきます。

実習は2年次後期から始まり、まずは病院と病児・病後児保育室の2か所で病児保育の実習に取り組み、医療や看護、病児保育に関する指導を受けます。これは、看護師が不在であることが多い保育現場で、子どもの健康に対して早急かつ適切な対応ができる保育者として活躍できるように育成していくことを目標としています。

### ■ 実地体験実習での学び

実地体験実習では、病児・病後児保育の現場で学ばせていただきました。通常の保育所と違い、子どもがどこにいても見えるように透明な区切りで部屋を分けていたことや、保護者にとってもリラックスできるような空間となるように努めていたのが印象的でした。

本実習を通して、病気に関する知識や病院との連携が子どもたちの命を預かる上で特に重要であること、その子にあった支援能力を将来的に引き伸ばすために大切な要素であることを強く感じました。

(健康保育学科3年 湯浅 英祐)



実地体験実習の様子

# 健康科学部 看護学科

## 人間力と看護力を身につけた看護専門職の育成をしています

今回で紹介する看護学科の特色ある教育は、1・2年生が中心となり企画・運営を行った看護学セミナー。そして、3年生の救命救急医療論において、いつ発生するか予測がつかない災害に対して災害発生時の社会の仕組み、災害救護活動や医療対応における看護の役割を学ぶ目的で行った災害看護演習です。



質疑応答の様子



看護学セミナー委員長による開会の挨拶

### ●看護学セミナー

昨年の秋に、第11回目となる看護学セミナーを開催しました。看護学セミナーは、学生が主体的に看護学について深く考える機会として、1・2年生の看護学セミナー委員が中心となり企画運営を行っています。第11回は、「看護職をめざして～実習を通して学ぶべきこと～」をテーマに看護学実習施設である新見市内の病院から看護師の方をお招きし、ご講演いただきました。

### ■看護学セミナーを終えて

今回の看護学セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、準備期間が十分に取れず、無事に開催できるのか不安がありました。しかし、「例年どおり」が通用しない中、臨機応変に対応し、委員が一丸となり看護学セミナーを開催することができたと思います。

今回お越しくくださった新見中央病院看護部長の宮長先生、渡辺病院看護師長の石垣先生のご講演を聞いて、看護学生としての心構えができました。私自身も「患者ファースト」の視点を持つことの大切さを学び、実習の中で患者さんの状態や強みを捉えた個別性のある看護についてより深く考えることができました。

(看護学セミナー委員長 看護学科3年 前田 桐)



トリアージで被災者のけがの状況を確認中



トリアージ後手当中

※トリアージ：大災害によって多数の負傷者が発生した際に、現場で傷の程度を判定し、治療や搬送の優先順位を決めること。

### ●救命救急医療論－災害看護演習－

3年生の救命救急医療論の科目の中で災害看護演習として、新見市に震度6強の地震発生を想定した事例を用いて演習を展開しています。学生は看護の領域（成人、基礎、在宅、老年、小児、母性、公衆衛生）ごとに分かれ、領域の特性を生かした援助を考えていきます。最終日の発表ではトリアージや、避難所の設営、小児・高齢者への配慮、自宅や避難所での物資不足の中での代用品の活用、入院患者の安全の確保、保健師間の連携など、領域ごとに工夫を凝らした発表となりました。学生は演習を通して看護職として災害時に何ができるか、何をすべきかを具体的に学ぶことができました。

### ■災害看護演習を終えて

私達のグループは、トリアージや応急処置の実践を行いました。救護班は発災直後に第一線として活動するため、刻一刻と変わる状況の中で臨機応変に対応できる判断力や精神力が欠かせません。被災された方は非日常的な状況に不安を抱くことが多いため、医療者が不安を与えないよう冷静に行動する必要があることを学びました。各地で災害が発生していますが、平常時から災害への知識や技術を習得することで、自分や大切な人の命、他人の命を守ることに繋がると再確認できました。

(看護学科4年 横山 睦実)



# 健康科学部 地域福祉学科

## 多様な職場で活躍できる福祉専門職を目指します！

地域福祉学科では、地域共生社会を支える福祉人材として、地域や福祉施設、自治体や医療機関などで幅広く活躍できることを目指しています。具体的に福祉の専門職として働くことをイメージするために、様々な施設・機関などで活躍する福祉専門職の生の声を聴く機会を設けています。昨年度は、「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」や「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」において、児童相談所や社会福祉協議会、地域包括支援センターからゲストスピーカーをお招きし、実際の福祉現場で行われている支援や、求められている福祉人材などについてお話していただいたことをご紹介します。



児童相談所職員への相談の様子

### ●相談援助の基盤と専門職Ⅰ

相談援助の基盤と専門職Ⅰは、相談援助（ソーシャルワーク）の役割や理念、社会福祉士の業務などについて理解することを目的としています。岡山県倉敷児童相談所から児童福祉司をゲストスピーカーとしてお招きし、実際の支援内容や仕事のやりがいなどについてお話を聞かせていただきました。

#### ■児童相談所のゲストスピーカーのお話を聞いて

児童福祉に興味があり、今回の講義を楽しみにしていました。講義や支援事例から子どもが安全・安心に暮らせるようにどうすればいいかと常に考えること、家族の支援も重要であるということ学びました。改めて、児童相談の仕事は子どもの人生や生活に影響を与えると深く感じるとともに、私も同じように子どもに関わる仕事がしたいと思いました。

(地域福祉学科3年 岡松 実季)



実習先の役割や機能についての説明

### ●ソーシャルワーク実習指導Ⅰ

ソーシャルワーク実習指導Ⅰは、3年次に実施するコミュニティ・ソーシャルワーク実習のための準備科目であり、実習の意義・目的を明確化することを目的としています。今回は実習機関の理解を深めるため、新見市社会福祉協議会、新見市地域包括支援センターの方をゲストスピーカーにお迎えし、機関の役割や実際の業務について、詳しくお話いただきました。

#### ■社会福祉協議会のゲストスピーカーのお話を聞いて

どんな取り組みをされているかなどのお話を聞き、実習先の機関について詳しく知ることが出来ました。お話の中で、地域の特色に合わせた取り組みをされていることを聞き、実習に向けて、地域について知る必要があると感じました。実習までに具体的にすべきことや、実際に実習に行ってもどんなことを学びたいかを考える機会になりました。

(地域福祉学科3年 太田 うた)

第31回

母校自慢

広島県立  
御調高等学校

2年  
藤井 萌香



御調高校では、生徒会を主体として、ALS（筋萎縮性側索硬化症）という難病の啓発や募金を通して難病支援について知っていただく難病支援活動をしていました。この活動により、私たちにできる支援や、バリアフリーについて考えることで、高齢者や難病の方に役立つ仕事がしたいと思うようになりました。今後、高校や大学での学びを生かし、1人でも多くの方が暮らしやすいと思えるような支援ができる社会福祉士を目指して頑張ります。

# 助産学専攻科

助産学専攻科の学生はこの1年間で助産師としての基礎能力を身につけることができました。今後は、自分の理想とする助産師を目指して研鑽を重ねてくれることを期待しています。

## ■1年を振り返って

助産師に必要な専門知識を身につけ、多くの人に出会えたこの1年はとても楽しく充実していました。特に実習では、自分の無力さに挫けそうな時もありましたが、コロナ禍での制限がある中で産婦さんにできることを考え続けました。「そばに居てくれて心強かった」という言葉や、産み終えた母親の表情から、助産師の道へ進んで良かったと感じました。継続実習では、一人の妊婦さんを妊娠から産後1か月まで受け持ちます。一人の方に長くしっかり関わることができ貴重な経験となりました。この経験と学びを活かして母子に寄り添い、周りを笑顔にできる助産師になりたいと思います。

(助産学専攻科6期生 廣川 理央)



新生児の授乳中

入学して最初の3ヶ月は授業中心で助産学の専門知識を学びました。産婦人科医や臨床の助産師の方からの講義もあり、教科書では学べない臨床の雰囲気や実際についても学ぶことができました。分娩を介助する演習では分娩介助専用の骨盤模型やモデル人形を使い、分娩進行状況の実際を想定しながら皆で繰り返し練習しました。実習中是不安や悩みも多かったですが、臨床の指導者さんや先生方、妊産婦さんと関わる中で、自分なりに成長できたと思います。

(助産学専攻科6期生 吉田 光)



新生児の沐浴中

# 大学院 看護学研究科

看護学研究科では、1月に「研究構想発表会」を開催しました。院生それぞれが入学後に取り組んできた研究の構想について発表しました。指導教員以外の先生方からいただいた多くの意見や貴重な助言を今後の研究に活かしていきます。



発表会の様子

## ■研究構想発表会を終えて

今回、研究構想発表会に向けて考えをまとめていく中で、今後自分が行いたい研究について研究背景や実施方法などを再度調べ直し「なぜ自分がこの研究をしたかったのか。」という原点の部分を変更して明確にすることができました。当日は、学長、副学長をはじめとした先生方の前で発表をする緊張で、自分が何を話したか記憶にない部分もあるのですが、「自分はこの理由でこの研究をしたい」と思える、満足のいく発表ができました。

働きながら研究を進めていくことは、思っていたよりも大変で時間もなく体力も気力も必要だということに今回改めて気づきました。しかし、院生同士での相談や、指導教員とゼミを重ねていくことで研究の楽しさに気づくことができました。この思いを大切に、今後の研究や院生生活を続けていきたいと思えます。

(看護学研究科7期生 山中 菜央)



# 同窓会 だより

同窓生の近況を  
報告します。



## 同窓会開催のお手伝いをします

昨今の情勢により、同窓会を開催するのが難しいご時勢ではございますが、感染が落ち着き、開催される際は大学がそのお手伝いさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学務課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめ、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。

## 評議委員会の延期について

本誌編集現在、岡山県では新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発令され、予断を許されない状況となっています。こうした状況から、例年鳴滝祭に合わせて開催している同窓会評議委員会は、延期とさせていただきます。開催日は未定ですが、評議委員の皆様には開催が決定しましたら通知にてお知らせいたします。なお、鳴滝祭についても本年度は開催を延期（開催時期未定）しております。

## 卒業生近況報告



倉吉市 こども家庭課  
谷口 さとみ  
(新見公立大学健康科学部看護学科 6期生)

**現**在、新生児訪問や乳幼児健診などの母子保健事業に携わっています。日々変化する昨今の状況下でも、虐待やネグレクトなどの早期発見・迅速な対応が求められています。

保健活動をする上でも、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、どうしても保健活動の縮小や中止の方向に目が行きがちです。ですが、感染症予防を徹底しながら、工夫をこらし、住民が心も体も健康に過ごせるような提案・助言をしています。みんなのことを思い出しながら、日々頑張っています。



娘は1歳3ヶ月、歩くのも上手になって、いろいろなものに興味津々の日々です。

柴田(熊井) 真理奈・柴田 尚輝  
(新見公立短期大学地域福祉学科 19期生)

**卒**業生の皆さんこんにちは！お元気でしょうか？

私達が大学を卒業してから5年経ちました。この5年間、新見市の隣の東城町の社会福祉法人で働きながら、遠距離恋愛を経て、結婚・出産して家族が増えました。この度、夫の実家がある熊本に引っ越し、新しい土地で新生活を始めました。仕事に育児に毎日バタバタしていますが、家族3人で楽しく過ごしています。時々大学での日々を思い出しては、新見での生活を懐かしく感じています。今は大変な時ですがいつか落ち着く日が来ることを信じています。またみなで会えることを心待ちにしています。



新居浜市公立保育園  
木村 奈津美  
(新見公立短期大学幼児教育学科 33期生)

**保**育士8年目を迎えました。出身園の私立保育園で働いた後、そこで得た知識・技術・心得を新しい場所で試してみたいと思い、昨年度から公務員として新たなスタートを切りました。主担任の今、不安な気持ちもありますが、毎日新しい視点を教えてくれる子どもたちが私を成長させてくれます。時々、学生時代のノートを開いて先生方からの助言を読み返したり卒業アルバムを開いたり、新見を思い出して元気をいただいています。

現在コロナ禍で密を避けた保育や制限のある行事など、難しい場面の連続です。そのような中でも子どもたち1人ひとりと向き合い、より一層丁寧な保護者対応を心掛け、安心感のある家庭的な雰囲気の保育を大切にしています。





## ■私の研究紹介

### 地域高齢者の社会関係とソーシャルサポートに関する研究

大学院看護学研究科 研究科長 矢庭 さゆり

15年の実務を経て保健師教育に携わり18年になります。高齢者や難病、障がい等を有し地域で生活されている方や家族を対象に、保健師として様々な不安や悩みに向き合いながら相談支援を行ってきました。継続して関わる中で、それぞれの歩んでこられた人生から生き方を学び、徐々にエンパワメントしていく瞬間に立ち会うことも多くありました。今回は、地域から教育の場に入った私の研究のスタートについて紹介します。

当時の要援護高齢者は、要介護認定を受けた時点で支援を受ける対象という社会的認識でした。疾病や障害により認定を受けたとしても、生活の質をできる限り維持し、その人自身が満足できる人生を継続していくために尊厳をいかに保つかが重要となります。そこで着目したのがソーシャルサポートという概念でした。

わが国は、人生100年時代という超高齢社会において心身の健康を良好に保つ重要性が問われ、ソーシャルサポートは注目すべき概念の一つです。近年では、活動的な高齢者増により、サポート提供が精神健康にポジティブな影響を及ぼす報告がみられています。自己高揚理論 (Self-enhancement theory) によれば、向社会的行動の結果、自尊感情が向上するとされます。実際にサポート提供は、高齢者に貢献感・有能感 (Usefulness) を与え、自己の真価に対する基本的感情の自尊感情や主観的幸福感等ウェルビーイングの向上が促進されます。しかし、当時のこのようなソーシャルサポート研究は健康な高齢者に限定されていました。

そこでまず、要援護高齢者が社会的役割を持つことで得られる他者貢献感と心理的ウェルビーイングの関連を明らかにすることを目的に研究に取り組みました。その結果、手段的、交流的、評価的サポートが他者貢献感を高め、他者貢献感が心理的ウェルビーイングを高めることが明らかとなり、生活機能同様に社会的役割をアセスメントした上でサポート提供に着目した支援の必要性が示唆されました (修士論文「要介護認定を受けた高齢者の社会的役割が他者貢献感および生活満足感に与える影響」)。

一方、社会的交換理論や衡平理論 (Equity Theory) によれば、

ソーシャルサポートの受領と提供の均衡性 (互惠性) が心身の健康に好ましい影響を及ぼします。サポート受領で生じる負債感等の不均衡は、サポートの返報により解消されます。しかし、要援護高齢者はサポート受領に対し十分返報ができない心理的な負債感から、自己評価 (自尊感情) を低下させる可能性があります。そこで、ソーシャルサポートの授受と自尊感情の関連を明らかにすることを目的に、ソーシャルサポート授受尺度を作成し研究を進めました。その結果、サポート受領に傾くことで自尊感情が低下し、サポート種類および性別により授受パターンは異なり、サポート交換により自尊感情が高まることが示されました。要援護高齢者へのソーシャルサポート活用の視点は、受領の確保ではなく、いかにソーシャルサポートの授受が行える社会関係を構築・維持していくかであり、自尊感情は他者との関わりによるソーシャルサポートの授受により変化するとともに、サポート受領に重きが置かれた従来の視点から、能動的な他者とのサポート授受を通し自己の存在価値を見出す重要性が示唆されました (博士学位論文「在宅要援護高齢者のソーシャルサポートと自尊感情に関する研究」)。

その後、続けて「学術研究助成基金助成金基盤研究 (C)」の採択を受け、研究代表者として、分担者として、高齢者の社会関係やソーシャルサポートに関する研究に取り組んでいます。最近では、新見市高齢者を対象に「社会的孤立」「ソーシャルキャピタル」「精神的自立性」「地域への愛着」等の研究を行っています。大学院で私が担当している院生の研究テーマは、産業保健師の精神健康、看護師の配置転換後の精神健康、看護師のワークファミリーコンフリクトなど多岐に渡りますが、いずれも精神健康に関する研究です。

最後に、これからの10年を考えてみます。新見市出身であり、新見高校から新見女子短期大学に進学し、看護の基礎を学びました。その後、新見地域で保健師として活動し地域の変遷をみてきました。今後の新見市を見据えながら、中山間地域の住民の暮らしに視点を置き、さらに研究を深化させていきたいと考えています。

卒業生の皆さん、是非大学院で一緒に看護を深めませんか？楽しみにしています。

## 学内施設の紹介

令和2年9月に新見公立大学に完成した地域共生推進センター棟の1階には、サクセスキッチンと売店があります。サクセスキッチンでは出来立てのパンやパスタなどを、売店では飲食物や文房具などを販売しています。また、売店は午前9時から午後9時まで営業しているため、学生や大学職員、一般の方も頻繁に利用しています。





# News & Events

学内のお知らせ  
イベント案内

## 2022年度入試日程

### 【大学】

#### ■健康科学部

入試区分	実施学科	出願期間	試験日
学校推薦型 選抜	地域福祉学科	2021 11/4(木)～11/12(金)	2021 11/27(土)
	健康保育学科 看護学科	2022 1/17(月)～1/22(土)	2022 1/31(月)
一般(前期日程)	全 学 科		2022 2/25(金)
一般(中期日程)	地域福祉学科	2022 1/24(月)～2/2(水)	2022 3/8(火)
一般(後期日程)	健康保育学科 看護学科		2022 3/12(土)

#### ■助産学専攻科

入試区分	出願期間	試験日
特別選抜	2021 8/10(火)～8/17(火)	2021 8/27(金)
一 般	2021 10/25(月)～11/1(月)	2021 11/13(土)

### 【大学院】

#### ■看護学研究科

入試区分	出願期間	試験日
一般・社会人特別 (前期)	2021 9/6(月)～9/13(月)	2021 9/25(土)
一般・社会人特別 (後期)	2022 2/1(火)～2/8(火)	2022 2/19(土)

\*大学院の後期日程については、前期日程で定員を満たさなかった場合にのみ実施します。

## 行事日程(予定)

日 程	内 容
7/18(日)	第1回オープンキャンパス(予定)
8/9(月)	第2回オープンキャンパス(予定)
8/29(日)	第3回オープンキャンパス(予定)
未定	第23回 鳴滝祭(延期)

## 奨学金制度

名 称	種別	採用人数	金額	内 容
新見公立大学 ふるさと育英奨学金 (申請先:新見公立大学)	給付	健康保育学科4人 地域福祉学科4人 看護学科5人	10万円 (年額)	本学学部入学生の内、入試成績が優秀であり、かつ本学が定める家計基準等を満たした学生に給付します。申請に基づき、入試種別ごとに選考します。
新見公立大学 奨学基金 (申請先:新見公立大学)	貸与 (無利子)	制限なし	30万円 (上限)	本学在学学生が国内外の研修等に参加する場合、又は緊急な事情等により経済的に困窮した場合に貸し付けます。卒業までに返還する必要があります。
新見市看護学生 奨学支援金給付制度 (申請先:新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在学生含む)	10万円 (月額)	新見市内の医療機関等で、看護師として勤務しようという意思のある看護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の医療機関等に4年以上勤務する必要があります。(市長が認める場合は、新見市内の医療機関等に4年以上勤務するまでの間、新見市外の医療機関等に5年以内従事することができます。)
新見市介護学生 奨学支援金給付制度 (申請先:新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在学生含む)	5万円 (月額)	新見市内の介護事業所等で、介護福祉士として勤務しようという意思のある介護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の介護事業所等に3年以上勤務する必要があります。

## 新見公立大学ふるさと育英奨学金で 学生を支援しています。

本学では、新見市の「ふるさと納税(ふるさとにのみ応援基金)」制度による寄附金を財源として、本学独自の給付型奨学金「新見公立大学ふるさと育英奨学金」を2019年度4月から運用しています。この給付型奨学金を活用して、看護・保育・福祉を学びたいと考えている優秀な学生を応援し、保健福祉の人材を育成したいと考えています。

皆様からの、母校に対する温かい寄附金が、保健福祉をリードする人材の誕生を支えます。母校で学ぶ後輩の夢を応援してください。

### ふるさと納税

ふるさと納税は、自分と関わりが深い地域を応援したいという思いを活かすため、地方公共団体に対して寄附を行った場合に、所得税と個人住民税が軽減される制度です。

### お申し込み方法

以下の方法でお申し込みいただけます。

#### A. インターネットからお申し込み

○新見市ホームページの「電子申請サービス」からお申し込みできます。

新見市ふるさと納税ホームページ

[https://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/kurashi\\_detail/index/1259.html](https://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/kurashi_detail/index/1259.html)

○ふるさと納税サイト「さとふる」、「ふるさとチョイス」からお申し込みできます。(クレジットカード等利用できません)

さとふる新見市ふるさと納税ホームページ

<https://www.satofull.jp/city-niimi-okayama/>

ふるさとチョイス新見市ふるさと納税ホームページ

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/33210>

#### B. 郵送、FAX、メールでのお申し込み

学報「まんさく」に同封しました「新見市ふるさとにのみ応援基金 寄附申出書」に必要な事項を記入してください。その際に寄附金の使途目的を『③教育・文化・スポーツ』に指定し、「うち新見公立大学支援」に寄附金額を記入してください。記入後は、郵送(岡山県新見市新見310-3)またはFAX(0867-72-6181)またはメール(s-seisaku@city.niimi.lg.jp)で新見市役所総合政策課へ送ってください。

【お問合せ先】新見公立大学 学生課 TEL:0867-72-0634



# まんさく

2021年6月号  
Vol.61 (Summer)



編集  
後記

全国的な新型コロナウイルスの感染状況は、依然落ち着きを見せませんが、全国でご活躍されている同窓生の皆様、関係の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

大学では、在学生650人が様々な場面で、感染防止に細心の注意を払いながら授業や学生生活を送っています。大学の対策としては、帰省等により移動も多くなる長期休暇明けには、全学生協力のもと、休暇中の行動履歴報告や健康確認を行い、経過観察のため授業をオンデマンドで実施するなど、学生と教職員が丸となって感染対策にあたっております。幸い学内での感染者はいませんが、今後も気を緩めることなく対策し、学生の学修への影響がないよう最善を尽くす所存です。

さて、2021年度が始まり、今年も新たに205人の学生が、全国各地から期待と希望を胸に新見公立大学に入学しました。新たに学生を迎えるたび、私たち教職員もその期待に応えていかなければならない重責を感じるとともに、入学した学生が4年後、「新見公立大学を選んで良かった!」と感じてもらえるように、なお一層それぞれの役割に力を注いでいかなければならないと改めて思うところです。

今号のまんさく表紙では、地域共生推進センター5Fにあるビューラウンジから見える新見市街の景色を撮影いたしました。同窓生の皆様にとっては、懐かしく思われる新見の景色がここから一望することができます。ビューラウンジは、学生たちが授業の合間に自由に出入りすることが可能で、この景色を眺めながら友人と談笑をしたり、読書をしたりして過ごすことができます。こうして過ごした時間が、新見の風景とともに学生の良い思い出になることを期待しています。また、この場所は一般にも開放しておりますので、本学へお越しの際にはお立ち寄りいただき、懐かしい景色をご覧になりながら、学生時代を思い出してはいかがでしょうか。(山根)

発行

新見公立大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL : <https://www.niimi-u.ac.jp/>

編集

広報委員会

広報部長

梶本 佳照

広報委員(50音順)

安藤 亮 泉 宗孝 井上 弘子  
入江 慶太 高杉 公人 久恒 拓也  
安原 知章 柳迫 三寛 八尋 茂樹  
山根 智幸 山野井尚美

## 人事異動

### こころうさま

〈退職〉

健康保育学科 教授 梶本 佳照  
// 講師 三好 年江  
看護学科 講師 百田 由希子  
地域福祉学科 講師 増井 香名子  
学務課 参与・課長 山本 里香

〈転出〉

総務課 課長補佐 杉井 靖和  
学務課 主任 真治 将史  
// 主事 渡辺 未樹

### どうぞよろしく

〈新採用〉

健康保育学科 特任教授 梶本 佳照  
// 講師 入江 慶太  
// 助教 松島 英恵  
看護学科 准教授 山野井 尚美  
// 助教 長崎 恵美子  
// 助教 高尾 緑  
// 助手 津曲 真弥  
地域福祉学科 教授 高杉 公人  
// 准教授 小松尾 京子  
// 講師 朴 薫彬  
地域共生推進センター 特任教授 加藤 雅彦  
// 助教 福武 幸世  
// 助教 長宗 武司  
教育支援センター 特任講師 福田 浩子

〈転入〉

総務課 主任 生田 淳介  
学生課 主事 安原 知章  
教務課 課長 吉田 征弘  
// 主事 古屋 祐樹

〈昇任〉

健康保育学科 准教授 加藤 由美  
地域福祉学科 講師 合田 衣里  
// 助教 岸本 由梨枝

〈氏名変更〉

地域福祉学科 助教 岸本 由梨枝



令和3年度新採用職員

## 2020年度 進路状況 (3月31日現在)

(単位:人)

学部・学科	内訳	卒業	専門職	一般職	進学
健康科学部看護学科		62	56	1	5
助産学専攻科		6	6	0	0

※7期生1名含む

おめでとう

新見公立大学  
看護学科、助産学専攻科

看護師、保健師、助産師

合格率100% (新卒)  
達成!